

第100回



沖縄·東村研修会





開催日:2016年9月12日(月)~17日(土)

開催地:沖縄県 東村

参加者: 留学生 37名

主 催:一般財団法人 共立国際交流奨学財団

支援団体: NPO 法人 東村観光推進協議会



参加省

	氏名	フリガナ	性別	国籍	学校名
1	陳 テイテイ	チン テイテイ	女	中国	武蔵野大学大学院
2	劉 洋	リュウ ヨウ	男	中国	西武文理大学
3	陳 玉妍	チン ギョクケン	女	中国	筑波大学
4	閻露	エンロ	女	中国	国士舘大学
5	殷 新	イン シン	女	中国	国士舘大学
6	関嘉健	カン カケン	女	中国	武蔵野大学
7	DZHUMATAEVA ZHIBEK	ジュマタエワ ジベック	女	キルギス	国士舘大学
8	何 如琪	カ ジョキ	女	中国	国士舘大学
9	李 丁清	リ テイセイ	女	中国	国士舘大学
10	李 曦茜	リ キセン	女	中国	国士舘大学
11	潘 徳欣	ハン トクキン	女	台湾	国士舘大学
12	PHAM QUOC BAO	ファン ゴック バオ	男	ベトナム	国士舘大学
13	KWON INHYUK	グォン イニョク	男	韓国	国士舘大学
14	蔡 鴻悦	サイ コウエツ	女	中国	国士舘大学
15	梁(悦	リョウ エツ	女	中国	国士舘大学
16	李 雨婷	リ ウテイ	女	中国	共立財団日語学院
17	NGUYEN VAN HAI	グェン ヴァン ハイ	男	ベトナム	共立財団日語学院
18	戴 暁伊	ダぃ ショウイ	女	中国	共立財団日語学院
19	姚 友梅	ヨウ ユウバイ	女	中国	共立財団日語学院
20	吴 芬妮	ウ フェンニ	女	中国	共立財団日語学院
21	賈 志剛	ジャ ジーガン	男	中国	共立財団日語学院
22	NGUYEN THI KIEU TRINH	グェン ティ キウ チン	女	ベトナム	共立財団日語学院
23	敖日其郎	オルチラン	男	中国	共立財団日語学院
24	PHAN THI NGOC HIEN	ファンティ ゴック ヒエン	女	ベトナム	共立財団日語学院
25	LE TRAN THAI HOA	レ チャン タイ ホア	女	ベトナム	共立財団日語学院
26	王 彦歓	オウ ゲンカン	女	中国	武蔵野大学
27	兪 倍加	ユ バイカ	女	中国	武蔵野大学
28	程堂	テイ エイ	女	中国	武蔵野大学
29	瞿 暁琳	ク ギョウリン	女	中国	目白大学
30	朱 星穎	シュ セイエイ	女	中国	目白大学
31	項 慧	コウ ケイ	女	中国	目白大学
32	許 遠	キョ エン	男	中国	目白大学
33	呉 京錫	オ ギョンソク	男	韓国	国士舘大学
34	徐 慧	ジョ エ	女	中国	武蔵野大学
35	褚 暁ヒ	チョ ギョウヒ	女	中国	武蔵野大学
36	劉陽	リュウ ヨウ	男	中国	神田外語大学
37	田 碩実	デン セキジツ	男	中国	国士舘大学

スケジュール

首里城

美ら海水族館

1日目 、

9月12日(月)。

7:00 羽田空港集合

8:25 羽田空港発 (JAL905)

10:50 那覇空港着

12:30 首里城 見学

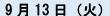
16:00 美ら海水族館 見学

18:00 ホテル到着

宿泊したマハイナウェルネスリゾート



2日目



9:00 ホテル出発

10:00 リバートレッキング

14:00 東村 入村式

晴天ではありましたが、台風の接近に伴って波が荒くなるため、マリン体験活動は「リバートレッキング」に変更となりました。マリンブーツとライフジャケットを身に着けて「ター滝」まで川を歩いていきます。







東村 入村式 受け入れてくださる農家さんと対面しました。

お世話になる農家さんと握手を して、それぞれのお宅へ。







3日目

9月14日(水)

終日 民家ホームステイ

照屋 広美さん宅 (パイン農家)



又吉 桂子さん宅 農作業後、博物館に 連れて行ってもらいました。





比嘉 艶子さん宅 (パイン農家)

安仁屋 幸子さん宅 農作業の合間に休憩



津嘉山 隆さん宅 (マンゴー農家)

高江洲 義吉さん宅 (パイン農家)



4日目

9月15日(木)。〇

8:00 東村 離村式

8:30 東村出発

9:00 古宇利島 見学

10:30 今帰仁城跡 見学

12:30 昼食(許田 道の駅)

15:30 ホテル到着



東村 離村式 農家さんと握手でお別れ

最後に農家さんも 一緒に記念撮影



世界遺産の 今帰仁城跡を見学

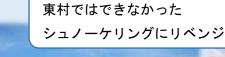


古宇利島のビーチを体験

5日目

9月16日(金)。○ 終日 自由研修

宿泊した ザ・ビーチタワー沖縄









万座毛



琉球村 Ryukyu-Mura

最終日

9月17日(土)。0

8:30 ホテル出発

9:30 那覇・国際通り散策・自由行動

11:00 集合

13:35 那覇空港発 (JAL908)

15:35 羽田空港着、解散

国際通りを散策しながら

ショッピング!

琉球ガラスを

初めて手に取ってみました。









参加者感想文

参加者の皆さんには、課題として以下の2つの項目について書いてもらいました。

- ① 今回の研修会のホームステイ先の家族へのメッセージ
- ② 今回ホームステイ、または農作業を体験して感じた日本の文化や特徴

許遠(中国)目白大学

① 高江洲義吉、ミスコ、義春さんへ

2 泊 3 日のホームステイは本当に楽しかったです。実は、自分のおじいちゃんとおばあちゃんとの記憶はすべて、子どもの時だったんです。でも、今回、もう一度感じました。できたばかりだとしても、家族でもある、ということがわかりました。離村式のとき、ずっと我慢して泣かなかったけど、車に乗って、涙がでてきました。別れを惜しみます。発表の文章を書くとき、自分一人で泣いていました。本当にお世話になりました。お元気でね。いつか必ず、会いに行きます。縁があれば、いつか、必ず、またもう一度会えるとはね。

PHAN THÍ NGOC HIẾN (ベトナム) 共立財団日語学院

② 今回ホームステイ、または農作業を体験して感じた日本の文化や特徴は、とてもおもしろかった。ホームステイより日本人の生活とか、マンゴーを育だてる方の方よくしっています。歴史を教えてくれました。ハイキングと海へ釣りに行かれたので、たのしかった。元気なおじいさんとおばあさんはお年寄りなのに、毎日いっしょうに仕事をするのを見られました。みんなは偉いです。沖縄の景色はとても美しいので、ここで住みたくて、帰りたくない。

② 今回ホームステイ、または農作業を体験して感じた日本の文化や特徴は、今まで学んできた日本の文化とは色々違いを見ました。それを一言でいうと、'チャンープル'と言って、一般的な日本の文化を含めて、世界の文化を混じりあっていることです。作物としてのパイナプールやパパヤなど、初日に味わったタコライスやサラダなどの西洋的なものと、日本の一般家庭でみえる風呂や日本式の生活パターンなどが、よくまじり合って新鮮な体験になりました。

引率者後記

日本人にとっても本州とは異なる文化を持つ地として認識されている沖縄県で、参加者 37 名がそれぞれの母国の文化との違い、あるいは似ている点を感じながら貴重な時間を過ごしてくれたようです。また、沖縄の特徴的な気候や自然にも触れた 6 日間となりました。台風の影響によりマリン体験活動を中止せざるを得なかった点は非常に残念でしたが、リバートレッキングを通して、東京では経験できない自然とのふれあいを体験することができたと思います。

ホームステイを終えた参加者たちが、ロ々に「また沖縄に戻って来たい」という話をしていたのが非常に 印象的です。この研修会がきっかけとなり、日本や沖縄についてより深く知りたいと思う留学生が増えるこ とを願っています。(引率者 鈴木美貴)